

事業所名: キャリー保育園なかのふじみちょう

令和4年度
福祉サービス第三者評価
評価結果報告書

評価機関(機構07-172)
合同会社 福祉経営情報サービス

別添資料1

福祉サービス第三者評価結果報告書(令和4年度)

2023年 3月 24日

キャリア保育園なかのふじみちよう
園長 三橋景子殿

郵便番号 104-0061

所在地 東京都中央区銀座6-6-1 銀座風月堂ビル5F

合同会社 福祉経営情報サービス

評価機関名

認証評価機関番号

電話番号 03-5537-7750

代表者氏名 渡邊廣貴

機構 07 - 172



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	渡邊廣貴	経営	H0403033
	②	川邊明美	福祉	H2001044
	③	高谷史郎	福祉	H1201010
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	地域型保育事業 小規模保育所			
調査対象事業所名称	キャリア保育園なかのふじみちよう			
事業所連絡先	郵便番号	164-0014		
	所在地	東京都中野区南台3-6-16ラメゾンドルミエール1F		
	電話番号	03-6382-4852		
事業所代表者氏名	三橋 景子			
契約日	2022年	9月	1日	
利用者調査票配布日(実施日)	2022年	9月	5日	
利用者調査結果報告日	2022年	12月	9日	
自己評価の調査票配付日	2022年	9月	5日	
自己評価結果報告日	2022年	12月	9日	
訪問調査日	2023年	1月	25日	
評価合議日	2023年	2月	27日	
コメント (利用者調査の工夫点、補助者・専門家等の活用などを記入)	事業評価: ・経営層自己評価の中で課題として認識している項目については、その課題に対する対応状況等を聞き取り現状の把握に努めた。			

評価機関から上記及び別紙の調査結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

年 月 日

事業者代表者氏名 キャリア保育園なかのふじみちよう 園長 三橋 景子



1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)安心と安全を提供します。 2)遊びと学びの体験を通して生きていく力を育みます。 3)職員の能力を伸ばし、保育の質の向上を実現します。 4)家庭と保育園はパートナーです。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	(1)職員に求めている人材像や役割
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに寄り添うことができる人 ・子どもと共に活動を楽しみ、子どもの思いに共感できる人 ・積極的に学ぼうとしたり、自主的に考え、行動できる人 ・コミュニケーションを大切にし、チーム一丸となって保育の質の向上に努めていける人
	(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)
	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の発達や状況を理解し、子どもが安心感を持って活動できるように子どもの思いや願いを受け止めること ・家庭と連携をとり、保護者の声に耳を傾けたり、時には協力を要請したりしながら、保護者支援の重要性を理解し対応にあたる姿勢 ・一人一人が組織の一員という自覚を持ち職務にあたる姿勢

調査対象	保育園を利用している全世帯の保護者を対象に調査を実施した。 1世帯で複数名の子どもが通園している場合は1回答とした。 子供総数:5 世帯数:3	
調査方法	・調査項目:東京都福祉サービス第三者評価の標準様式に準拠。 ・事業所への報告:自由回答については匿名性への配慮を行った上で事業所に報告した。	
利用者総数	5	
利用者家族総数(世帯)	5	
共通評価項目による調査対象者数	5	
共通評価項目による調査の有効回答者数	3	
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	60.0	

利用者調査全体のコメント

<p>総合的な感想では「大変満足」が回答の67%、「満足」が33%であり、回答者全員が「大変満足」「満足」のいずれかを選択している。</p> <p>総合感想の自由記述では、「人数が少ない園なので、先生1人に対しての児童が少なく、子供をしっかり見てもらえている。」「子供のことを本当に大切に可愛がって接して頂いているのが伝わってきます。安心して預けることが出来、素敵な保育園に通うことが出来とても恵まれていると感じます。」という回答があった。個別の設問では対象者も少なく、回答数も少ないため自由意見はあまり得られていない。</p>
--

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見では保育園に通所することにより、家庭ではできない体験ができているという旨の回答があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問ではお子さんが園の活動に興味を持って取り組んでいることを伝える回答があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問ではおいしそうな献立であることや、「お昼ご飯が小麦を使ったパンや麺の場合はおやつがお米なのもありがたいです。」と、献立の工夫がされていることを伝える回答があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問では、季節感のある遊びを体験できているという旨の回答があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	1	0	0	2
「無回答・非該当」を除く1名が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	2	1	0	0
2名が「はい」を選択している。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問では、保護者が相談できており、お子さんの様子が丁寧に保護者に伝えられている旨の回答があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	2	0	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	3	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	2	0	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	2	0	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	7/7	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
カテゴリー1の講評		
<p>なかのふじみちようとして大切にしている事を職員皆に伝えて理解してもらっている</p> <p>理念・方針については園内研修実施時に読み合わせを実施している。資料を配布し、保育理念についてはその内容を分かりやすく記載して説明するとともに、なかのふじみちようとして大切にしていきたい事も資料に併記して伝えている。子どもとの信頼関係を大切にすることや、季節の行事は日々の保育の中で行うこと、保育士と一緒に楽しみ楽しさを共有すること、家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせるようにすることが、新人職員やパート職員、既存職員の職員に伝えられている。併せて年齢別の保育の目安が周知し共有されている。</p> <p>子どもが安心して過ごせるよう、園内の雰囲気を大切にしている</p> <p>子どもが安心して過ごせるようにするためには職員が安定することが大切と考え、昼休みなどは雑談など自然に過ごすようにしている。声の大きさや慌てないこと等に注意し、やわらかい雰囲気を保ち、この雰囲気の中で園が大切にしている事を共有し実現できるようにしている。また、職員会議では、子どもとの関わりの中で良かったところなどを伝えあい、園内研修では職員1人につき1回はポジティブな感想を伝えることを取り決めるなど、前向きで穏やかな組織風土の醸成に取り組んでいる。</p> <p>職員が意見や提案をしやすい環境があり、園内の重要事項は皆で話し合って検討している</p> <p>毎月系列園の園長会で重要事項について話し合っており、本部の決定事項は毎月の職員会議や朝、昼の申し送りで職員に周知されている。不明なことや相談事項は本部窓口で確認し相談ができる体制がある。また、定期的に巡回する本部のマネージャーにも相談でき、何かあれば相談をしている。そのほか、本部の人事直通のホットラインがあり職員が利用可能である。小規模な保育園であるため、職員が意見や提案をしやすく、皆で共有し話し合われる環境があり、園内の重要事項や課題については職員が意見を出し合って検討、決定している。</p>		

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>法人でアンケート調査や人材活性調査を実施して保護者・職員の意向が把握されている</p> <p>保護者参加の行事については行事後アンケートを実施している。例えば、夏祭りの時は、開催時間や内容、出し物、気づいた点等、保護者の意見を細やかに確認している。また、親子ふれあいデーでは親子クッキングと制作を行っており、内容の評価や感想を得ている。年度末には法人全園でWEBを活用して園の保育に関するアンケートを実施しており、保護者意向の把握がされている。職員の意向については本部が人材活性化を目的とした調査を実施しており、人材育成などに活用されている。</p> <p>地域の情報や保育ニーズの把握に努め、園の課題を抽出している</p> <p>毎月開催されている区主催の園長会や区から得られる情報などから地域福祉の動向や保育ニーズに関する情報を得ている。また、法人の園長会からの情報のほか、本社からの情報により福祉や保育事業の動向などの情報を把握している。法人園長会では各園の活動が月次で報告されている。保育実施面や事故、感染症、地域その他について毎月報告がされており、園ではこれらの情報のほか、保護者や職員の意向、園内の状況などに基づき園の課題を把握し、課題の解決策を職員間で話し合って実践している。</p> <p>職員が意見を出し合い、課題の解決に取り組んでいる</p> <p>事業計画は保育目標と保育内容、年間行事、食育・保健、子育て支援・地域交流、危機管理、職員研修計画を記し作成されている。また、年2回の運営委員会時には事業計画と現状を照らして振り返っており、運営委員会のレジュメに記載して保護者などに周知されている。園内の課題解決については職員に周知し、皆で解決にあたることにしている。例えば、法人園長会で注意喚起があった不適切保育などについては職員会議で内容を周知し、園内研修でチェックリストの実施結果について話し合うなど、園全体で問題意識を持って取り組んでいる。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常的言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇)・非該当1
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input checked="" type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

子どもの人権尊重については何度も研修をして行動規範の浸透が図られている

就業規則については入社時に説明がされている。毎月開催している園内研修では人権擁護について定期的に取り入れており、子ども一人ひとりの尊重や、声かけ、関わり等、毎回テーマを決めて職員間で考え、話し合う時間を持っている。また、人権擁護のためのセルフチェックリストを毎回の研修のなかで少しずつ実施して日々の保育を見直している。園内研修ではそのほか、虐待対応についても毎年実施して保育従事者としての行動規範の浸透が図られている。

虐待防止に取り組み、また、苦情解決の仕組みを整備して権利擁護に取り組んでいる

虐待通告のためのフローチャートを事務所に掲示している。虐待対応については研修やマニュアルの読み合わせを行い、また、不適切な保育については、個々の事例を参考に皆で振り返る時間を持っている。苦情相談窓口については周知ポスターの掲示のほか、入園のしおりに受付責任者・担当者、第三者委員の連絡先を記載して入園面談時に保護者に周知している。また、苦情があれば記録して対応している。日常の相談は基本的には担当が受けて対応するが、小さな園でもあり園長が対応することも多く、また職員の誰もに対応ができることを保護者に伝えている。

地域のニーズに応じ在宅子育て家庭向けの保育体験会を実施している

地域の在宅子育て家庭向けの保育体験会を実施している。0歳児を対象に1日1組に限定して、親子で製作やリトミックなどを体験してもらっており、地域の子育て家庭が参加している。地域との連携はコロナ禍により行い難くなっていたが、連携がこれ以上減ってしまうことを懸念し、近隣の保育園に挨拶に行き連携を高めることにも取り組んでいる。

カテゴリー3-3-1-2については、東京都福祉サービス第三者評価で定員、対象年齢が類似している事業種別が非該当であることから、当保育所の評価においても「非該当」としている。

4		リスクマネジメント		カテゴリー4
サブカテゴリー1(4-1)				
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況		4/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(○○○○●)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている			○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている			○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している			○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる			○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる			○非該当
サブカテゴリー2(4-2)				
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況		4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(○○○○)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている			○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している			○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている			○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している			○非該当
カテゴリー4の講評				
<p>災害や防犯について様々なケースを想定し、月3回の訓練を実施している</p> <p>安全確保については地震、風水害、落雷、PM2.5、光化学スモッグ、火災に関する法人統一の危機管理マニュアルがあり、必要時に参照されている。避難訓練は、毎月、地震、火災に加え防犯訓練を実施しており、月3回の訓練を実施する中で、避難、消火、防犯、通報などリスクの高いものは毎月訓練を実施している。散歩中の地震発生や散歩中の不審者対応、園内での多様な状況を想定し、抜き打ちでの実施など、毎回想定を変え様々なケースで対応行動ができるようにしている。</p> <p>事故やヒヤリハットを迅速に共有し、対応策を話し合い、再発防止に取り組んでいる</p> <p>大規模災害時の事業継続計画(BCP)については園内で確認できず、策定することが望まれる。安全に対する対策や訓練に関しては、園のしおりや運営委員会の資料に記載し、保護者や民生委員に周知している。</p> <p>事故予防では事故報告書とヒヤリハットを作成し、状況を職員全員で共有して予防、再発防止に努めている。起きた事故については当日もしくは翌朝、提出されたヒヤリハットも翌朝の申し送りでも報告することを取り決めて迅速な情報共有がされている。</p> <p>重要データはアクセスを制限して情報の保護と共有をしている</p> <p>個人情報取扱規程には利用目的や開示請求への対応が記載され、個人情報使用の同意書を保護者から得ている。情報の扱いについては就業規則に遵守事項を定め職員に周知している。また、入社時に守秘義務などについての誓約を得ている。個人情報などの重要書類は鍵付きの書庫に保管している。園内では出退勤や午睡チェック、登降園管理でICTを利用している。また、連絡メールや名簿などはPGで管理し、端末にはパスワードをかけ重要なデータには園長のみがアクセス出来るようにして情報の保護と共有がされている。</p>				

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
◎あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

個々の経験や役職に応じた評価と目標設定をして人材の育成に取り組んでいる

法人ウェブページの採用情報欄にキャリアパスの概要を掲載し入社前から確認できるよう配慮がされている。また、入社時に資料を用いてキャリアパスについて職員に伝え、役職登用の際にもキャリアパスを伝えて意識してもらっている。人事制度では人事考課と目標管理の運用がされており、階層別の人事考課シートの項目に基づき評価を行うとともに、年2回の面談で職員が自らの役割を理解する機会を設けている。目標管理では半期毎に自己目標を設定して園長との面談時に振り返りが実施されている。

外部の研修や園内研修により職員がさまざまなことを学び、振り返ることが出来ている

区で主催している研修に職員が参加しており、園長研修、乳児・幼児研修、食育など年度で20～30程度あるテーマの中から職員が希望する研修を選択し受講している。職員が自ら参加したいと思う研修のほか、園として学んできてほしいと思う研修については推薦し、受講できるよう体制を整えている。また、園内においても毎月研修を開催している。令和4年度は人権研修を5回計画し、それぞれの回においてねらいを設定して理解を深めている。そのほか、環境整備や保育理念、嘔吐処理やケース検討などを取り入れ、期毎の反省も研修の中で実施している。

職員間のコミュニケーションを日々大切にして、相談しあえる関係性がつくられている

有給消化率はほぼ100%であり、年3日のリフレッシュ休暇も取得できる。また、心身の健康の確保については、互いに気遣いできるような職場環境づくりに努めている。また、法人グループの人事直通ダイヤルで困りごとを誰でも直接相談できる仕組みがある。小規模保育園で職員の人数も少ないため、保育士、栄養士が分け隔てなく昼の時間に子どもの様子や疑問に思うこと、改善したいことを気軽に話し合い、全職員で共有するようにしている。課題は早期に解決できるよう話し合う時間を作り取り組んでいる。

カテゴリ7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p> <p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>保育士の子どもへの声掛けや対応の質を高めることを目的として、人権擁護チェックリストを活用し職員の保育を自分自身で見直す機会を設けるために、令和3年度は「園内研修の充実化」を目標とした。人権擁護、嘔吐処理、虐待対応、環境整備、デイリープログラムの見直し等をテーマとして園内研修の年間計画を立て、月に一度、昼の時間を使い保育士全員で研修をする時間を設けた。実施した結果、人権擁護の内容を定期的に園内研修に組み込むことで、職員各自が自分自身の保育を見直す良いきっかけとなった。保育の中で気を付けていきたいことを共有することができ、子どもへの関わり方についても保育士自身が気持ちに余裕を持ち、落ち着いて関わるできるようになった。人権擁護の研修により、基本に立ち返ることの大切さを改めて感じた。今年度は人権擁護も引き続き取り入れつつ、自社の掲げる保育理念とそれをもとに開園から職員が大切にしてきた「なかのふじみちようとして大切にしたいこと」を期ごと確認し、自分たちの保育を見直す時間を作っていくように計画を作成した。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評</p> <p>「園内研修の充実化」を目標とした背景として、子どもへの関わりや支援の質を高めていくことがあり、研修内容についても人権擁護をメインテーマとして、各回で実施の主旨を明確にして計画作り、実施されている。年度を通した振り返りにおいては、職員各自が自身の保育を見直し、子どもへの関わりにも変化があったようであり、大きな成果があったものと推察される。今年度は人権擁護について継続し、園として大切にしていきたい事について確認し保育を見直すことにより、研修実施の主旨は基本→基本と実践をつなぐ内容へと発展的に設定されている。園の保育を見直し高めていく取り組みとして大いに評価したい。</p>	
<p>評価項目2</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p> <p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>食育活動を通じて食材への興味を引き出し、楽しく美味しく食べることの大切さを伝えたいという思いがあり、また、食べることは生きる上での基本であり、保育理念である「生きる力の基礎を培う」にも繋がっている。そのため、「食育活動」について注力して取り組んだ。実施にあたり、1、2歳児ともに前期と後期で計画作り、観察や皮むきは1歳児から、2歳児は栽培、調理までを年間を通して実施した。プランターでの野菜栽培は、水やりの当番を決め、毎日順番に水やりを行うことで野菜の成長を実感し、成長を楽しみにする姿が見られた。2歳児は後期に簡単なクッキングも楽しんだ。自分たちで作ることで喫食の意欲にも繋がっていた。年間を通して、野菜の観察を1、2歳児で実施し野菜に触れる機会を重ねるうちに、積極的に触れたり、さつまいも洗い、玉ねぎの皮むきまでできるようになった。また、栽培した野菜が給食で提供される(※衛生上の観点から提供する野菜は別途購入している)ことで、食材への興味も高まり、友だちと一緒においしさを共有したり、苦手だった食材も意欲的に食べようとする姿が見られるようになった。</p>	

目標の設定と 取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>「生きる力の基礎を培う」理念に基づき食育活動に力を入れており、継続的、恒常的な重要事項として注力して取り組んでいる。食育は食育計画において、年間を通して子どもの発達を鑑みて計画化されている。食育活動を通して年齢児ごとに様々な子どもの姿が見られており、園の思いに沿った活動により、理念である「生きる力の基礎」が育まれているものと推察された。</p> <p>園としては、「食育を日々の保育に自然に組み込み、日常の中で食材を身近に感じたり、食材への興味を引き出せるような取り組みを実施することを継続し、子どもの発達や理解に合わせ、子どもたちの興味・関心を高めていける食育活動を展開していきたい」と考えており、このような食育活動が継続的かつ発展的に実施されていくものと期待できる。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	サブカテゴリー1の講評	
	<p>ウェブページやパンフレットには園の情報がわかりやすくシンプルに記載されている</p> <p>園のホームページには室内の様子や園として大切にしていること「明るく元気で毎日笑い声の絶えない保育園」が掲載され、写真を用いた施設紹介やプログラム、入園や見学の案内などがウェブページ内でシンプルにわかりやすく案内されている。また、リーフレットには園の特長や概要の案内のほか、保育理念と保育目標、主なデイリープログラム、年間スケジュールなどがシンプルにまとめられている。そのほか、施設情報は公的な情報公開サイトで案内され、子ども子育て支援情報公開システム(ここdeサーチ)等で公表されている。</p> <p>コロナ禍においても園の様子を知ってもらえるよう、分かりやすい資料を作成している</p> <p>コロナ禍で室内を歩いて見学することを制限しているため案内用のパンフレットを独自に作成している。パンフレットでは写真で園内設備のほか、絵本や玩具、手作り玩具をたくさん紹介しており、クマやサルの人形やブロックなど、普段子どもたちが遊んでいる玩具がわかりやすく案内されている。</p> <p>また、玄関の棚には小さなスケッチブックが置かれ、写真やコメントで子ども達の生活や行事の様子が伝えられている。誕生会や新入園児の紹介など一人ひとりにスポットを当てた紹介もされており、視覚から園内の様子や普段の活動の様子を知ることができる。</p> <p>写真を用いるなど、工夫して園内の様子を伝え、丁寧に見学の案内をしている</p> <p>園見学は年間を通して実施しており、一日1組に限定して案内をしている。パンフレットや写真を使用して1日の流れや持ち物、戸外遊び、連携園、年間行事などの説明をするとともに、小規模保育園ならではのアウトホームな環境の中での保育、異年齢での交流が日常の中で自然に行われていることなど、園の特色を伝えている。そのほか保育体験会の案内もしており、園の良さをたくさん知ってもらうことに努めている。</p>	

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2 サービスの開始・終了時の対応			
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当	
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園時には重要事項を丁寧に説明し、家庭と子どもの状況を細やかに聞き取っている</p> <p>入園決定後は個別面談を行い説明をしている。家庭状況など、保護者が記入する書類は事前に記入してもらい面談時に確認をしている。面談時は契約書と重要事項説明書を読み上げ、説明事項と個人情報の使用について同意を得ている。また、面談票を用いて子どもの生活リズムや食事、睡眠などを確認し、保護者の意向を聞き取り、保護者の就労状況や慣らし保育の予定を確認して登園前の必要な情報を得ている。保護者の不安を聞き取るなど、面談を丁寧に実施することにより、安心して通園できるようサポートし、入園後も安心して過ごせるようにしている。</p> <p>入園当初は子どもと保護者が安心し、新しい環境に慣れるよう配慮している</p> <p>子どもと家庭の情報は利用開始前に職員間で共有している。慣らし保育の期間は0歳児は2週間、1歳児は3日程度を目安に、家庭の就労状況により柔軟に設定している。入園当初は特定の保育者が担当するとともに、極力園長や保育リーダーなど他の保育者からも声かけを行い、子どもと保護者が安心できるよう留意している。小規模な保育園であるためクラスの垣根を越えて対応がしやすい環境があり、また、園全体で子どもを見ることで、子どもが早期に新しい環境に慣れるよう配慮している。</p> <p>卒園後も園とのつながりが保てるよう、卒園した家庭を園の催しに招待している</p> <p>転園の際には、いつでも相談に来れるような雰囲気作りや、地域の子育て支援窓口の紹介など、転園後も安心して過ごせるよう働きかけをしている。また、卒園して連携園に入園する場合は、連携園の情報も伝え、安心感が持てるようにしている。卒園した各家庭には夏祭りの招待状を送付し、卒園児の参加がある。夏祭りでは卒園児が参加する企画も取り入れて、卒園児の来園を園としても楽しみにしている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引き継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリ-3の講評			
<p>共通認識を持って保育を実践できるよう、各クラスの保育計画を園全体で共有している</p> <p>子どもの状況は、法人統一の書式で整備されている児童状況調査書や発達チェックシートに記録している。発達チェックシートは毎月記録して振り返っており、発達の状況を踏まえて月案や週案などの計画を作成している。各保育計画については計画期毎に各クラスで評価と反省をおこなっている。毎月の職員会議では各クラスの計画について共有する時間を持ち、園全体で考えなければならない事は話し合い、共通認識のもとで保育を実践している。また、その内容を次期の計画に反映させている。</p> <p>子どもの姿に沿った保育の目標などが保護者に伝えられている</p> <p>年間指導計画、月案、週案の各計画は保育の全体的な計画を踏まえて作成されている。各計画で子どもの様子を捉え、ねらいと環境設定を記入し、評価・反省をしている。2歳児までの保育園であるため、全員に個別計画を作成している。また、配慮が必要な子どもが在籍する場合は、個別に専用の計画や日誌を作成している。保護者には5月の懇談会で、クラス毎に子どもの発達から予想される姿と、その姿に沿った関わりなど、年間のねらいや目標を周知している。また、個人面談の際には個々の子どもの様子や状況、ねらいや目標を伝えていく。</p> <p>小規模な園であり、子ども個々の状況を職員皆が共有している</p> <p>週案に振り返り欄を設け毎日の保育内容を記録している。子ども個々の生活や体調面については、生活確認表に登降園の時間や体温、給食やおやつの摂取状況、排便などの記録をして、申し送り、引き継ぎにより園全体で共有している。ワンフロアで少人数の保育をおこなっているため、子どもの状況を職員全員で共有ができる環境があり、子どものちょっとした変化も職員皆で見守り、共有することが出来る。</p>			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子ども個々のプライバシー保護に配慮がされている</p> <p>個人情報の使用手順についてはマニュアルに定めている。使用する際は目的を特定してあらかじめ保護者の同意を得て使用することが保護者に周知されており、肖像についてはパンフレットや掲示、園だよりなど個々に同意を得て使用している。</p> <p>保育の現場では、1、2歳児のおむつ替えは個別にトイレで行う、着替え時には間仕切りを使用する等で子どものプライバシーに配慮している。また、お漏らした時は他の子どもたちにはわからないように保育者間で配慮しておむつ替えをするなど、子どもの気持ちに配慮した対応がされている。</p> <p>家庭的な雰囲気の中で、家庭の価値観や生活習慣を受容して保育をしている</p> <p>在籍する子どもの人数が少なく家庭的な雰囲気の中で保育が行われており、子ども一人ひとりを丁寧に受け止め、たくさんの言葉がけをし、気持ちに寄り添った保育を提供している。また、それぞれの家庭の生活習慣や価値観になるべく寄り添い子どもの保育をすることになっている。例えば、登園が遅れる家庭には散歩先の公園で待ち合わせることを提案したり、日本食に慣れていない子どもには家庭で弁当を作ってもらい、並行して給食を少しずつ食べてみる等、細やかな対応をしている。</p> <p>虐待防止や人権尊重については、年間を通した園内研修で意識と行動が高められている</p> <p>虐待防止や育児困難家庭の支援については、中野区主催の研修に参加して学び、研修後に園内で共有している。また、虐待対応については園内研修でテーマとして取り上げ確認する機会を設けている。育児困難家庭に関しては、児童相談所等と連携し家庭の様子を見守り支援している。</p> <p>園では令和3年度以降、園内での人権研修に注力して取り組んでおり、職員個々の意識が高められている。また、現場の支援では叱り方などについても認識の共有をして、不適切な保育にならないよう留意している。</p>			

サブカテゴリ-6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当
サブカテゴリ-6の講評			
<p>各種マニュアルを整備し、必要な業務の標準化が進められている</p> <p>マニュアルは衛生や感染症、嘔吐、食中毒、清掃、危機管理などが準備されている。危機管理マニュアルでは散歩や事故、誤飲、怪我、アナフィラキシーショック、熱性けいれんの対応マニュアルが整備されており、対応手順の明確化が必要なものについてはフローチャートが作成されている。また、室内に前述のフローチャートを掲示する等で、勤務する職員がいつでも確認と対応ができるようにしている。嘔吐処理などについては園内研修をして処理手順の表を作成して共有したり、お散歩マップで道順の共有をするなど、必要な業務の標準化対応がされている。</p> <p>保育の基準となる保育園マニュアルは、法人園長会において適宜見直されている</p> <p>キャリア保育園マニュアルは、毎月開催されている系列園の園長会において、各園の様子や状況に照らして意見交換をして、必要に応じた見直しを実施されている。保育園マニュアルが整備されていることで、キャリア保育園として統一した保育を提供することができている。園内では毎年度末に入園のしおりについて系列園と内容の擦り合わせを行い、毎年度見直し改定している。</p> <p>職員が意見を出し合い、提案をして園運営や保育実施面の改善が推進されている</p> <p>年に2回開催される運営委員会では保護者代表2名から意見を聞く機会を設けている。また、開催前には開催の主旨を保護者に周知し、一定の期間を設けて保護者から意見を収集しており、保育の取り組みや今後の園運営についての要望や提案等を聞き、反映できるよう努めている。また、園運営に関する諸課題については職員同士が話し合い、意見を提案して改善が実施されている。保育実施面では職員からの提案で園内でのリズム活動を開始したり、食育の栽培活動などは保育職員と調理部門が双方でアイデアを出し合って進められている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	34/34
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input checked="" type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>手作り玩具をたくさん用意し、子どもが手に取り、好きな遊びができるようにしている</p> <p>保育室には水とビーズの動き楽しむ玩具など、さまざまな手作り玩具が子どもが自分で出し入れできる高さの棚に置かれており、子どもの発達に沿った玩具が用意されている。また、トイレトペーパーに見立てた手作り玩具やままごと遊びのキッチン台、円卓、布類、冷蔵庫や電子レンジなど、遊びが発展させられそうな玩具を配置して、主体的に遊べる環境づくりをしている。視察時のままごと遊びでは、子ども達がキッチン台から皿や具材を円卓に並べる姿が見られ、保育者は子ども達の様子に合わせて声をかけ、楽しい雰囲気の中で遊びが展開されていた。</p> <p>日常的に異年齢の関わりがあり、互いに刺激を受けて育つ環境がある</p> <p>少人数でワンフロアで過ごしているため異年齢児との関わりがとても多い。小さな子どもが年上児の遊びの真似をしたり、歩く姿やお話をする姿を見て自分でもしようとする、などの姿がみられる。また、年上児は泣いている年下児の姿を見て頭を撫でてあげるなどの姿が見られる。小さな子どもが頭を撫でられることを嫌がる場面もあり、そんな時には頭を撫でてくれた子どもの気持ちを汲んだ声かけをしている。</p> <p>子ども個々の状況に応じ、一人ひとりの気持ちを受け止めて支援を実施している</p> <p>特別な配慮が必要な子どもの保育をするときは、区の巡回指導を利用してアドバイスを得ている。個別の支援に配慮しつつ、集団の中で保育できそうときには集団での活動を楽しめるよう支援している。嘔みつきなど発達に伴い生じるトラブルについては事前に保護者に伝えており、子どもの思いを代弁して相手に伝えていることなど、園の取り組みを保護者に理解してもらっている。</p>			

2 評価項目2		子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している			○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している			○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している			○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている			○非該当
評価項目2の講評				
<p>家庭との間で毎日の子どもの様子を伝えあっている</p> <p>登降園時には必ず保護者と会話をし、子どもの体調やその日の様子などを伝えている。朝は園児ノートを確認し特記事項があるときには生活確認表に記録し職員間で共有できるようにしている。また、朝番、遅番は3名の職員で担当しているため、それぞれの時間帯の共有はしやすい環境である。お迎え時にはその日の子どもの様子を口頭で伝えている。子どもの在籍人数が少ないため、迎えが混雑することもなく保護者一人ひとりと時間を取って会話ができています。</p> <p>生活習慣の支援は家庭と連携し、子どもの発達に合わせて進められている</p> <p>トイレトレーニングや食事、着脱などの基本的な生活習慣は、家庭の希望を確認し、園での様子を伝えて進めている。特に幼稚園に行く子どもは卒園までにおむつが外せるように進めている。また、家庭でなかなかトイレトレーニングが進まない時には現状から目標を示し、家庭でも意欲的にトレーニングができるよう促している。離乳食については、初めて提供する食材は家庭で試食した後に園で提供するようになっている。食具については、毎日の給食で手づかみ食べ、スプーン食べなど、個々の発達の状況に合わせて丁寧に進めている。</p> <p>体調や生活リズムを考慮して、睡眠や休息の支援がされている</p> <p>休日の過ごし方や登園時間などを考慮し、子どもの状態に合わせた休息が取れるようにしている。0歳児には午前睡を行うための環境を整えたり、散歩中に眠くなってしまった子どもにはバギーにタオルを敷いて眠れるようにするなどの配慮をしている。午睡時間に早めに目覚めた子どもは、横になっている間はそのまま休息し、起きたときは絵本を見るなどして過ごしている。ままごとコーナーにはクッションやゴロンと横になってゆっくりできる環境があり、子どもたちがゆっくり過ごしたいときにはその場所でゆっくり過ごしてもらっている。</p>				
3 評価項目3		日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている			○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している			○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している			○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている			○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている			○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している			○非該当
評価項目3の講評				
<p>玩具や空間など、それぞれの活動に集中して取り組めるよう環境設定がされている</p> <p>玩具箱には絵がつけられ、棚の高さ、置かれている玩具の量等、子どもが自由に玩具を選べるよう配慮がされている。遊びは、子どもたちから「やりたい」という意思表示があればその遊びを行うようにしている。遊びや活動の内容に合わせて環境の設定を工夫している。ワンフロアの室内を間仕切りを利用して空間を分け、静と動の空間をつくっており、視察時には製作、給食、ままごと遊びの3つの活動をそれぞれの空間で行い、それぞれの遊びに集中できるよう環境が整えられていた。一つの事に集中できる環境設定にアイデアや工夫が感じられた。</p> <p>年齢や発達に応じた表現活動や言葉のやり取りを楽しんでいる</p> <p>まだ集団遊びまでは行えないが、子ども同士の関わり合いから集団遊びの前段階の遊びが行われている。リズムでは音に合わせてカエル飛びをしたり、動物に変身したりと、大人の真似をしながら、皆で同じ動きをすることを楽しんでいる。前年度のふれあいデーではわらべ歌やふれあい遊びなどを皆で楽しんだ。日常保育では保育者が子ども同士を仲立ちし、言葉のやり取りを十分に楽しんだり、伝え合う喜びを味わえるようにしている。1歳児になると順番なども少しずつ伝えている。待つことや物の貸し借りなど、発達に応じた言葉と動作の支援をしている。</p> <p>公園等に行き季節を感じることや、手先を使うさまざまな製作などを実施している</p> <p>近隣にはたくさんの公園や広場、神社など、子ども達が遊べる場所があり、季節や保育のねらいに応じて公園を決定し出かけている。神社でドングリ拾いをしたり、小さな葉っぱや石ころを見つけて持って帰ってくることもある。拾ってきたドングリは湯がいて室内遊びに使ったりしている。季節に合わせた製作などのほか、指スタンプや手形遊び、ボディペインティングなどを行ない、絵を描く、貼る、ちぎる、と手先を使った作品作りをしている。小麦粉粘土は粘土を作るところから子どもと一緒に実施している。</p>				

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちが主体的に行事に参加できるよう、時間をかけて準備をしている</p> <p>子どもたちの発達に合わせ、楽しく参加できる行事内容を企画している。行事のテーマを日常の保育の中に取り入れ、子どもたちが主体的に興味をもって参加できるように計画をしている。季節の行事の歌を朝の会やリトミックの時間に歌ったり、季節の製作を楽しんだり、保育室の壁紙を季節に合わせて変えていくことで、季節感を感じながら楽しめるような工夫をしている。長い期間をかけて準備を行う事でじっくり行事を楽しめるようにしている。節分なども鬼を怖がって終わってしまうような内容にならないよう、意識して行事計画を立てている。</p> <p>親子行事等では行事実施の主旨を保護者に伝えている</p> <p>親子ふれあいデーでは親子でクッキングなどを実施し、友達と一緒に楽しんだり、お父さんやお母さんなどと一緒に楽しい経験ができるようにしている。行事について保護者の理解を得ることについては、例えば、親子クッキングを開始する前には実施の主旨などを司会者から保護者に伝えており、子どもの発達の状態に合わせ、子どもができる内容を取り入れていることを保護者に伝えているなど、園から積極的にアナウンスをしている。</p> <p>子どもの様子を様々な手段で保護者に伝え子どもの姿を共有している</p> <p>園内で小さな行事を実施した時などには、その時の写真を小さなスケッチブックに貼り、玄関に飾って保護者に見てもらっている。そのほかに月に1度の写真販売や動画配信により、行事の様子を保護者に伝えている。写真販売や動画配信、スケッチブックの掲示などは、子どもの成長をともに喜び、子どもの姿を共有することにつながっており、保護者と園がともに子どもを育てていることを保護者も実感できる取り組みになっているものと推察された。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>長時間の保育であっても楽しく、安心して過ごせるよう環境に配慮している</p> <p>長時間保育になる子どもが在籍する場合には、楽しい雰囲気の中で補食を食べたり、子どもの好きな遊びを提供することで安心して過ごせるようにしている。いつもは入らない0歳児のコーナーで遊んだり、普段しまっている玩具で遊ぶことなどもしている。また、子どもの疲れに配慮して激しい活動はせず、机上遊びなどを行う環境づくりをしている。視察時には夕方園にいる子どもは一名だったが、多くの保育者が園にいて、大人と1対1で関わったり、スキンシップが十分にできる環境になっており、その中で子どもが落ち着いてパズル遊びを行う姿が見られた。</p> <p>延長保育時は子ども個々の体調や生活リズムを考慮して支援をしている</p> <p>補食は子どもの空腹に配慮して園で作ったおむすびなどを提供している。延長保育時は子ども一人ひとりの年齢や体調、生活リズムを考慮し、寂しくならないよう話しかけたり遊びに誘ったりしながら、疲れた様子であれば必要に応じて休息を取り入れている。勤務シフトで担任以外が遅番担当者になることもあるので、必ず申し送りをして、どの職員が担当になっても子どもの様子を把握できる体制にしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作り等に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>発達に応じ、ゆったりとした雰囲気の中で楽しく食事できる環境づくりがされている</p> <p>0歳児は保育者と向かい合い、1対1もしくは1対2でゆったりと食事をしている。発達状況に応じた食具を使って食べる子どもの姿を見守り、「おいしいね」「もぐもぐだよ」など優しく声をかけ介助をしている。1歳児は小人数で一つのテーブルに着き、みんなで一緒に食事をしている。食事の前に調理担当職員がその日のメニューや食材のイラストを見せて子どもに伝え、保育者が声掛けをして楽しい雰囲気が作り出されている。給食はメニュー全てを並べ、無理強いせず、子どもたちは食べたいものを自分で選び口に運んでいる。</p> <p>郷土料理や誕生会メニューなどで工夫を凝らし、おいしい食事作りに取り組んでいる</p> <p>調理担当職員は、子どもの食べ具合や食べる様子をよく見て、保育者と話し合い献立作りを活かしている。献立は2週間サイクルで立てられ、子どもの食べ具合や保育者の意見を2度目の提供時に反映している。献立の工夫としては、北海道や鹿児島等の郷土料理を提供しているほか、誕生会にはニンジンや星形に切ったり、おやつにホイップクリームをつけるなど特別感が感じられる献立を提供している。食物アレルギーの対応では、アレルギー食材の完全除去を行い、小麦や卵などが代替できるものは代替食を提供している。また、宗教食にも対応している。</p> <p>栽培や調理など、年齢の小さな子どもでも楽しく食育活動をおこなっている</p> <p>プランターで野菜を栽培し収穫する体験をしている。今年度はミニトマトやキュウリ、イチゴ、サツマイモなどの栽培をした。2歳児が在籍していた時には2歳児が水やり当番をしていた。クッキングでは2歳児が蒸しパン作りやクッキーの型抜きなどをおこなった。また、年齢の小さな子どもはヨーグルトにリンゴを入れて混ぜるなどの簡単な作業を手伝った。そのほか、野菜洗いや食材に触れる、観察をするなど、年間を通してさまざまな経験ができるよう、計画を立てて食育活動を実施している。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>手洗いやうがいなどについて、子ども達への丁寧な指導が実施されている</p> <p>健康指導ではうがい・手洗い指導を実施している。手洗い場の壁にイラストで手洗いの仕方を示し、習慣化するまでは職員が側につき、一緒に手洗いをしている。うがいは2歳児の後半から指導を開始している。マット遊びでは手をついて転がる経験をするなど、遊びの中で危険回避のための動作が習得できるようにしている。散歩時には横断歩道を渡る時に手を挙げることを伝え、道路を走る自転車などについても子ども達に注意を呼び掛けるなど、日常の中で子どもたちが自分自身で安全を確保できるよう指導をしている。</p> <p>医療的なケアの必要が生じたときは体制を整えて対応することになっている</p> <p>医療的ケアが必要な子どもをこれまで受け入れたことはないが、受け入れる際には中野区や園長会、本社などから情報を得て体制を整え対応していきたいと考えている。調査時は対象となる子どもがいなかったため、ダイアップやエビペンなどの預かりはしていなかったが、預かる必要があるときには保育者が与薬できるよう、ダイアップの挿入やエビペンを打つ研修を実施することになっている。医療機関との連携では、定期的な健診時などに嘱託医から感染症の情報を聞くこともあり、その場合は保護者にも伝えている。</p> <p>保健だより等により感染症などの情報を保護者に伝えている</p> <p>保健・衛生面については年間保健計画を立てて取り組んでいる。乳幼児突然死症候群については、入園時の説明の際に保護者に園の取り組みを伝え、併せて予防の呼びかけをしている。また、園だよりでは、その時期に流行する病気や健康に関することをピックアップして保護者に予防策の周知や注意喚起をしている。衣服の調節などは保護者と連絡を取り合い子どもが適切な服装で過ごせるよう支援している。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の就労状況や家庭の事情に柔軟にに応じている 就労以外でも通院や引っ越しなど保護者の事情に応じて保育をしている。また、スポットの延長や保育時間の変更なども就労状況に応じて柔軟に対応している。</p> <p>日々の送迎時の会話を大切にして信頼関係を築くように心掛けている。個人面談は前期と後期に一度ずつ、希望により実施している。子育ての悩みや話したいことがある保護者に対しては十分聴くことに留意するとともに、園での子どもの姿や成長の姿を共有し、一緒に喜び、上手いかわないことがあれば一緒に解決策を見出していくことにしている。</p> <p>保護者同士が交流し、子育ての認識を共有できるよう機会を設けている 5月に懇談会を開催し、担任を交えて他の保護者との意見交換の場を設け、親睦を深められるようにしている。コロナ禍で懇談会が開催できなかった時には保護者個々の意見を募り、まとめて園内に掲示して他の保護者の考えを共有することに取り組むなど、保護者同士で子育ての認識を共有することに努めている。</p> <p>写真等での情報提供や保育参加等により、園の様子や子どもの姿を保護者に伝えている 日々の子どもの様子は写真販売や、動画配信、掲示などで保護者に伝えられている。写真は毎月、1クラス60～90枚、動画は週に3回程度配信されており、多様な方法で子どもの姿を保護者に伝えている。 保育参加は年に1回実施しており、保護者には自分の子どものクラスに入ってもらい、保育士体験をしてもらっている。また、保育参加の日に給食の試食会と個人面談を併せて実施している。実際に試食してもらうことで、保育園の食事が薄味であることや、その理由として味覚の発達が考慮されていることも保護者に伝えることが出来ている。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>図書館や公園など地域資源を十分活用して子どもたちの活動の幅を広げている 近隣の図書館へ行って本を借り、園にはない絵本を楽しんでいる。2歳児が在籍しているときは2歳児も図書館へ連れて行き、子どもが選んだ絵本や、季節や行事に関する絵本、紙芝居などを借りている。 園の周辺には乳児が遊びやすい公園が多い。公園の利用時は、固定遊具を使い体を使って遊ぶ、広い場所で集団遊びをする、0歳児が外気浴しやすい公園など、活動の目的に合わせて行く先を決めており、地域の資源を活用した園外活動を行なうことが出来ている。</p> <p>日常の保育の中で地域の人たちとの交流がされている 隣の花屋さんには花の種を買いに出かけたり、散歩時に交番の警察官に挨拶をするなど、日常の活動の中で地域の人達と交流を持つことが出来ている。 交番では子ども達が挨拶をすると交番の前までお巡りさんが出てきてくれることもあるなど、馴染みの関係が形成されている。 また、行事では近隣の商店街でハロウィンのイベントがあり、園も参加して商店街の人からお菓子をもらうなどの交流がされている。小規模保育事業の連携園との連携や交流については、今後高めていくことを課題としている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル①	子どもたちの発達段階に合わせた行事運営に取り組んでいる	
内容①	日々の行事を日常の保育の中に取り入れ、子どもたちが主体的に興味をもって参加できるように計画をしている。季節の行事の歌を朝の会やリズムの時間に歌ったり、季節の製作を楽しんだり、保育室の壁面を季節に合わせて変えていくことで、季節感を感じながら楽しめるような工夫をしている。親子参加行事である夏まつりでは、子どもたちが十分に楽しめる企画やゲームを本番に向け計画し、保育園で子どもたちが楽しんでいることを保護者も一緒に経験してもらうことで、親子の触れ合いを楽しんでもらえるような内容にしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者への保育内容の発信(見える化)に取り組んでいる	
内容②	子どもの姿を保護者に極力伝えられるよう、掲示や写真販売、動画配信などを実施している。掲示は担当が不定期でスクラップブックを作成し玄関先に掲示して、散歩や食育、お誕生日会の様子など、日常の保育を写真と保育者のコメントで伝えている。写真は月に一度Web上で販売をしている。動画配信は不定期ではあるが、写真では伝わらない子どもの会話なども保護者に伝えており、保護者が子どもの成長を実感できる取り組みとなっている。今後は生活の様子なども動画配信し、保育内容の発信をより充実したものにしていけることを検討している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル③	外部研修や毎月の園内研修など、職員が学ぶ機会を豊富に設けている	
内容③	区が開催している研修に可能な限り参加し、学ぶ機会を確保している。職員各自が希望する研修のほか、園として「重点的に学んでほしい」研修を推薦し、受講してもらっている。受講した内容は職員会議で報告し、意見交換まで実施して園内での共有をしている。また、毎月実施している園内研修では、人権擁護をテーマとして改めて自分たちの保育を見直す時間を作ったり、虐待対応、デイリープログラムの見直し、各期の反省など、毎回のテーマで意見交換をして、より良い保育に向け園内の意識を統一していけるよう工夫している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子ども一人ひとりが自ら活動しようとする姿を大切に、一人ひとりに丁寧な言葉かけや働きかけをしている
	内容	ポジティブな言葉をたくさんかける事や、子どもの思いを汲み取って代弁して伝えたり、指差しに応える、視線を合わせて共感するなどを意識して保育している。視察時にもままごと遊びを行う中で保育者のたくさん言葉かけがあり、楽しく遊ぶ雰囲気作りが行われていた。子どもが遊ぶ上で「ここで遊ぶことが楽しい」と感じられる雰囲気を作ることは大切なことであり、また、ポジティブな言葉かけを意識して子どもと関わることで、子どもの気持ちも前向きになり、主体的な行動への意欲が醸成されているものと推察された。
2	タイトル	年齢が小さな子ども達が主体的に行事を楽しめるよう、子どもを中心に行事の準備を進めている
	内容	夏祭りや親子ふれあいデーなど保護者が参加する行事も開催しており、子どもたちが当日十分に楽しめるよう、行事の準備を時間をかけておこなっている。室内装飾なども、少しずつ飾り付けを開始し、徐々に変化させて行くことで子どもが慣れ、いつもの姿で参加できるように配慮している。また、行事にちなんだ製作を早い時期から楽しみ、室内に飾り、歌や絵本などの導入についても、とても丁寧にこなしている。季節を感じつつ行事に向けて一緒にゆっくりと準備することで、子どもたちが主体的に興味をもって行事に参加出来るようにしている。
3	タイトル	職員間の信頼関係を大切に、話し合っ業務や保育実践面の課題解決に取り組んでいる
	内容	小規模な保育園であるため、職員が意見や提案をしやすい環境があり、園内の重要事項は皆で話し合って検討している。保育の活動では職員からの提案で園内でのリズムックを開始したり、食育の栽培活動などは保育職員と調理部門が双方でアイデアを出し合っ進められている。子どもの姿や保育のねらい等についても、クラスや職種の垣根を越えて職員皆で共有しており、日頃から気軽に話し合い相談しあえる雰囲気や関係性を大切に日々の保育に取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	中長期計画を策定し、園の課題解決に向け取り組んでいくことを期待したい
	内容	地域の環境変化など、園としての課題も把握しているところであり、中長期的に課題の解決に取り組むことが期待される。中長期的な計画を策定し、単年度の重要な項目については具体的な行動計画を作成する等、安定的な事業運営に向け取り組んでいくことを期待したい。
2	タイトル	コロナ禍もあり滞りがちであった地域との連携について、今後も深めていくことを期待したい
	内容	地域の在宅子育て家庭向けの保育体験会を実施するなど、小規模保育園でありながら地域に園の専門性を還元している。また、日常の保育の中で地域の人たちとの交流がされている等、コロナ禍の中にあり、地域との関係性の継続に努めている。地域との連携についてはコロナ禍によりこの数年行い難くなっていたため、今年度は園から積極的に連携をしていくことに取り組んでいる。連携園との連携などは重要であるため、コロナ禍の状況を踏まえつつ、深めていくことに今後も取り組んでいただきたい。
3	タイトル	園の保育や子どもとの関わりについて、職員の学び合う機会をさらに設けていくことを構想している
	内容	毎月の職員会議で指導計画の反省、子どもの姿、次月のねらいを共有している。また、個々の職員が子ども全員を見られる環境であることから、実際の子ども姿の共有がよくされている様子である。今後は日誌の共有などにも力を入れ他の保育者の視点を学びあう機会を設けることを構想している。園ではこれまで人権研修に力を入れ、各自が子どもへの関わりを学んできたが、日誌の共有についても、職員個々が保育の幅を広げ、園の保育を全体で考えることにつながる取り組みと考えられる。是非取り組んでいただきたい。